

# 令和 8 年度笠岡市当初予算

---

一般会計 249億 8,980万円

(前年比 △ 9.2%)

特別会計 128億 4,725万円 (〃 + 4.5%)

企業会計 69億 9,734万円 (〃 △18.8%)

合計 448億 3,439万円 (〃 △ 7.4%)

# 令和8年度当初予算 体系別イメージ

令和8年度は、今後の本市の指針となる「第8次笠岡市総合計画」がスタートします。本計画では、将来像を『「対話」と「協調」と「連携」で築く夢と笑顔が広がるまちづくり』と定め、そのビジョンに向けた基本理念を

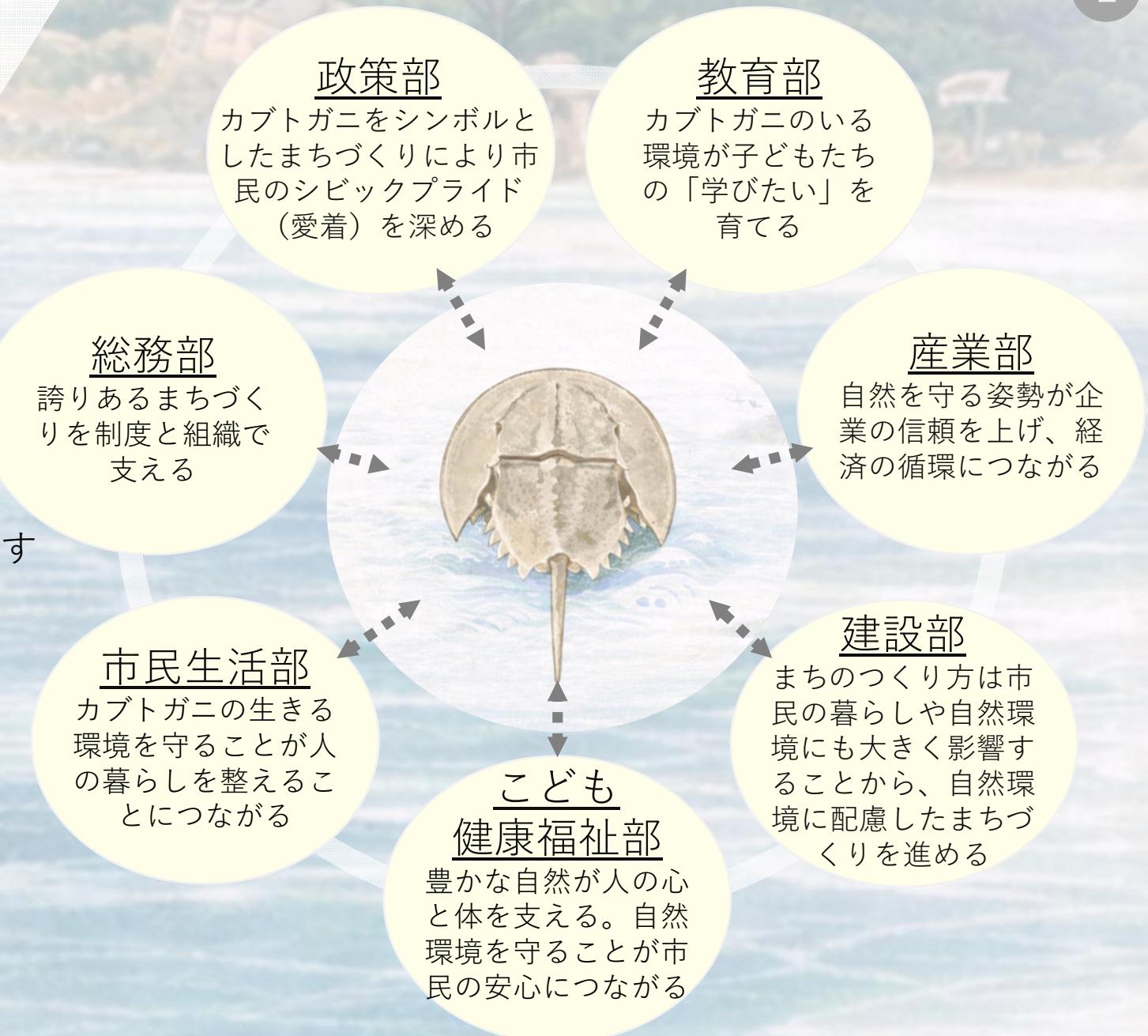
「暮らしを支える」「まちを整える」「こどもを守り人を育む」の三つの柱と、これらを支える「横断的施策」で構成しています。

また、「カブトガニをシンボルとしたまちづくり」をスローガンとして掲げ、その一環として「カブトガニ未来創生プロジェクト」を推進します。



# カブトガニを シンボルとした まちづくり

笠岡市役所全体が  
スローガンを共有しながら  
様々な施策を進めていきます



# 基本理念別 主な新規・拡充事業

## 暮らしを支える

- ・企業立地促進奨励金  
(民有地における大規模企業の誘致推進)
- ・中小企業伴走支援補助金
- ・ガラモ場(藻場)整備事業
- ・カブトガニ関連商品開発事業
- ・地域経済活性化専門人材活用事業
- ・道の駅笠岡ベイファーム  
リニューアル事業
- ・地域で行う健康増進事業
- ・認知症早期発見・予防事業
- ・住宅リフォーム助成金

## こどもを守り人を育む

- ・医療的ケア児保育支援事業
- ・放課後児童クラブ2人目以降無償化事業
- ・不妊治療費助成事業
- ・子ども医療給付事業(対象年齢拡大)
- ・小学校チーム担任制実現に向けての加配事業
- ・屋内運動場空調整備事業
- ・小学校給食費無償化事業
- ・中学校給食食材費補助金
- ・電子図書館導入事業
- ・部活動地域展開推進事業

## まちを整える

- ・まちなみづくり支援事業
- ・離島航路維持補助金
- ・航路改善計画策定事業
- ・地域の移動支援事業
- ・高齢者タクシー利用助成事業
- ・カブトガニ環境サミット
- ・臭気対策事業

## 横断的施策

- ・オープンイノベーション・コミュニティシステム  
導入事業
- ・情報発信スキルアップ支援事業
- ・新庁舎建設準備事業



# 暮らしを支える

令和8年度当初予算額  
7,704百万円

## 主な新規・拡充事業

### 企業立地促進奨励金

(民有地における大規模企業の誘致推進) (0千円)

民有地への大規模事企業立地を促進するため、民有地での大規模工場建設等に対する奨励金を拡充する。

### ガラモ場（藻場）整備事業 (5,000千円)

稚魚の育成場として重要なガラモ場を造成するための検証場を造成する。

### 地域経済活性化専門人材活用事業 (12,000千円)

専門性の高い民間人材を活用して観光協会の運営、商品開発など、観光・商業の振興を図る。

### 地域で行う健康増進事業 (1,720千円)

高齢者交流活動など健康づくりにつながる地域での取組を支援し、健康寿命の延伸を目指す。

### 住宅リフォーム助成金 (20,000千円)

物価高騰対策として上限額を増額とともに、高齢者や低所得世帯等についてはさらに上限額を嵩上げする。補助率1/2 上限12万円（高齢者世帯等 上限15万円）【物価高騰対策】

### 中小企業伴走支援補助金 (8,631千円)

市内金融機関連携による新たな専門相談窓口の設置や専門家派遣、DXを活用した経営状況改善に向けた伴走支援体制の強化を図る。

### カブトガニ関連商品開発事業 (1,200千円)

カブトガニ未来創生プロジェクトの一環として、カブトガニに関する様々な商品を開発し、民間事業者との連携などによる展開を図る。

### 道の駅笠岡ベイファームリニューアル事業

(36,225千円)

民間活力導入可能性調査、測量・地質調査業務を実施し、基本計画を策定する。

### 認知症早期発見・予防事業 (814千円)

認知機能セルフチェック等によりMCI（軽度認知障害）の早期発見を行い、かかりつけ医や専門医への受診に繋げたり、予防教室への参加を促しながら、重度化を予防する。



# まちを整える

令和8年度当初予算額  
5,599百万円

## 主な新規・拡充事業

### まちなみづくり支援事業 (30,000千円)

市内の住宅不足を解消するため、市有地の積極的な住宅用地としての提供検討を進めるとともに、笠岡駅前エリアの商業地域内で、かつ居住誘導区域内における建物の除却促進と共同住宅建設を促進する。

### 航路改善計画策定事業 (1,547千円)

持続可能な航路のあり方について調査・検討を行い、航路改善計画を策定する。

### 高齢者タクシー利用助成事業 (56,370千円)

1乗車あたりの利用上限を撤廃するとともに、仕組みの効率化と不正利用の防止等のためにマイナンバーカードを活用した助成に切り替える。

### 臭気対策事業 (18,035千円)

臭気対策資材の購入費補助を拡充して購入・利用を促進するとともに、畜産農家等を対象に移動式測定を含む臭気の調査・測定を行い、測定結果の可視化に基づく指導と優良事例の横展開により対策を推進し、臭気の低減を図る。

### 離島航路維持補助金 (65,565千円)

従前の国庫補助制度に加え、佐柳本浦航路において補助対象外となっている区間の赤字についても新たに1/2の補助を行い、国庫補助対象航路の維持を図る。

### 地域の移動支援事業 (5,080千円)

まちづくり協議会による地域の実情に応じた車両運行による移動支援の実施とその仕組みの構築を支援することで、地域が主体となる移動支援の取組を推進する。

### カブトガニ環境サミット (2,600千円)

カブトガニを生物多様性のシンボルとして位置づけ、豊かな自然を守ることで、住民から選ばれるまちになる。



# こどもを守り人を育む①

令和8年度当初予算額  
6,181百万円

## 主な新規・拡充事業

### 医療的ケア児保育支援事業 (9,529千円)

医療的ケア児に対して、保育・教育サービスを提供できる環境を整える。

### 不妊治療費助成事業 (4,000千円)

保険が適用される不妊治療を受ける場合に、自己負担額を助成する。

### 小学校チーム担任制実現に向けての 加配事業 (5,020千円)

市独自で常勤講師1名を配置し、体制を強化する。チームによる組織的な対応により、児童一人一人の特性や発達の多様化・複雑化等が進む中、より効果的・専門的な指導や対応を行う。

### 放課後児童クラブ2人目以降無償化事業 (7,770千円)

2人以上の児童がクラブを利用する多子世帯に対し、2人目以降の負担金を無償化する。

### 子ども医療給付事業（対象年齢拡大） (230,070千円)

従来の制度のうち通院について、令和8年4月から高校生まで対象を拡大することで、通院・入院ともに高校生まで医療費が無償となる。

### 屋内運動場空調整備事業 (135,900千円)

新山小学校・笠岡東中学校の屋内運動場に空調設備を整備する。



# こどもを守り人を育む②

令和8年度当初予算額  
6,181百万円

## 主な新規・拡充事業

### 小学校給食費無償化事業 (108,401千円)

学校給食費の抜本的な負担軽減に対応し、小学校の学校給食費を無償化する。

### 電子図書館導入事業 (6,344千円)

電子図書館を導入し、来館しなくても図書館サービスを受けられる仕組みを整備する。

### 中学校給食食材費補助金 (9,021千円)

米価等食材費の高騰に対応するため、令和7年度に引き続き生徒の給食費に補助金（1食あたり60円）を支出する。【物価高騰対策】

### 部活動地域展開推進事業 (6,125千円)

学校で行う部活動を、地域クラブや地域の人材と連携して行う「地域展開」を推進する。そのためコーディネーターを配置し、地域クラブへの移行の支援や専門指導者による学校での活動体制を構築する。



# 横断的施策

令和8年度当初予算額  
2,050百万円

## 主な新規・拡充事業

### オープンイノベーション・コミュニティシステム導入事業 (4,000千円)

課題に対する提案や解決案を有する事業者を募り、マッチングを行い、採用した事業について実証実験を行う。

### 新庁舎建設準備事業 (100千円)

新庁舎建設に向け、関係機関との協議を行い、今後予定している基本計画策定に向けた準備を行う。

### 情報発信スキルアップ支援事業 (1,749千円)

市が実施している様々な施策を市民をはじめ多くの人に伝えるため、SNSによる市政及び魅力の発信の強化を行う。

## 物価高騰対策 (国の重点支援地方創生臨時交付金活用事業)

令和8年度当初予算額  
39百万円

### 飼料高騰対策補助金 (10,316千円)

長引く飼料価格の高騰により畜産農家の経営に深刻な影響が生じているため、飼料費の負担軽減を目的として補助金を交付し、事業継続を支援する。

### 住宅リフォーム助成金【再掲】 (20,000千円)

### 中学校給食食材費補助金【再掲】 (9,021千円)

※参考：令和7年度1月補正にて商品券(1万円/人)配付事業を含む物価高騰対策事業469百万円を計上済

# カブトガニ未来創生プロジェクト

絶滅危惧種でありながらも、現在も本市沿岸に生息するカブトガニは、笠岡市の自然環境の健全性を示す重要な指針となっています。

本プロジェクトは、カブトガニをシンボルとして、まずは市民の皆様に笠岡への愛着を深めていただく施策です。

カブトガニを環境指標（バロメーター）として、市民生活の質の向上と快適な生活環境の確保を図るとともに、企業や関係団体との連携を強化しながら、まちの価値を高め、魅力あるまちづくりを進めます。

そして将来世代が安心して暮らせる環境づくりを目指します。

## 主な関連予算

カブトガニ環境サミット

ガラモ場(藻場)整備事業

豊かな海の再生事業補助金

カブトガニ関連商品開発事業

カブトガニ博物館 特別展等事業

カブトガニ保護啓発活動

カブトガニ産卵池水路擁壁補強工事

